



Tokyo Tech

大学院全学説明会

2019年5月11日（土）

9：30-11：00

大学会館3階多目的ホール

1. 全体説明（大学院での学修について）

副学長（教育運営担当） 井村 順一 教授

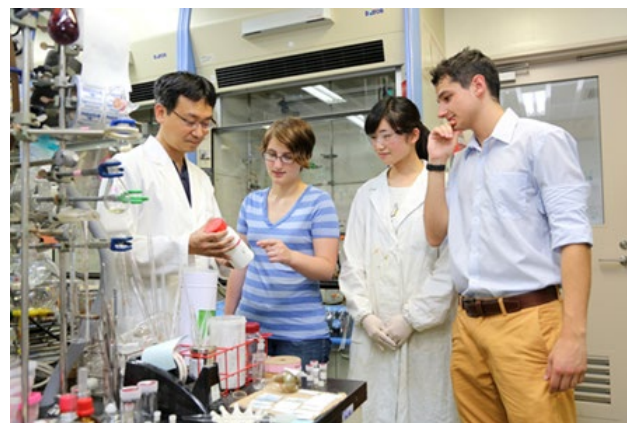
2. 経済的支援について

学生支援部門 部門長 岡村 哲至 教授

3. キャリア支援について

学生支援部門 部門長 岡村 哲至 教授

4. その他・質疑応答



卓越した専門性とリーダーシップを
併せ持つ人材がより良い世界を創る

卓越した専門性



- 理工系基礎科目の充実
- 基礎学力・専門能力
- 科学・技術により新しい
社会を切り拓く気概

リーダーシップ



- 教養も含めた幅広い視野
- コミュニケーション能力
- グローバルな課題へ挑戦する力
- 世界に雄飛する気概と人間力

世界最高水準の研究の中で 学生が自ら学び考える教育

専門教育に教養教育を有機的に関連付けた
段階的に学修できる教育体系

科学技術への知的好奇心や
探究心、社会貢献への志

学生の目的に応じた
多様な教育プログラム

科学技術を基盤として
より良い社会を築くことができる
「挑戦し続けるフロントランナー」

学士課程

科学技術を基盤として自ら
学び考えることができる人材

修士課程

国際的に貢献できる科学技術
の専門家

専門職学位課程

科学技術を活用し自らの理論
を構築して産業や社会の発展
に貢献できる実務家

博士後期課程

より良い社会を構築できる
科学技術のフロントランナー

「日本の東工大から世界のTokyo Techへ」

【目的】 [詳細：入学案内より抜粋（夢を叶える東工大での学び方）](#)

専門分野の高度な知識とその活用に必要な教養を身に付け、研究室で本格的な研究を進めます。さらに、専門英語を操れるようになって国内外での学会発表を経験し、自らの道を拓きます。

【養成する人材像（DP）】 [詳細：本学HPトップ》東工大について》東工大の方針》東工大教育ポリシー](#)

国際的に貢献できる科学技術の専門家

修士課程では、幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

【求める人材像（AP）】 [詳細：本学HPトップ》東工大について》東工大の方針》東工大教育ポリシー](#)

基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を求めます。

「日本の東工大から世界のTokyo Techへ」

【目的】 詳細：[入学案内より抜粋（夢を叶える東工大での学び方）](#)

研究室でトップクラスの研究を行い、理工系人材のパスポートである博士学位を取得して自由自在なキャリアから自分の道を選択し、学問を究めることを目的としています。

【養成する人材像（DP）】 詳細：[本学HPトップ](#)»[東工大について](#)»[東工大の方針](#)»[東工大教育ポリシー](#)

より良い社会を構築できる科学技術のフロントランナー

博士後期課程では、卓越した専門力、並びに、国際的な場で実践できる教養、そして、社会に対して論理的に説明でき、リーダーシップを発揮できる力を身に付け、限界を設けず挑戦し本質や普遍性を見抜いて、新たな知の発見、価値の創造及び発信ができる人材を養成します。

【求める人材像（AP）】 詳細：[本学HPトップ](#)»[東工大について](#)»[東工大の方針](#)»[東工大教育ポリシー](#)

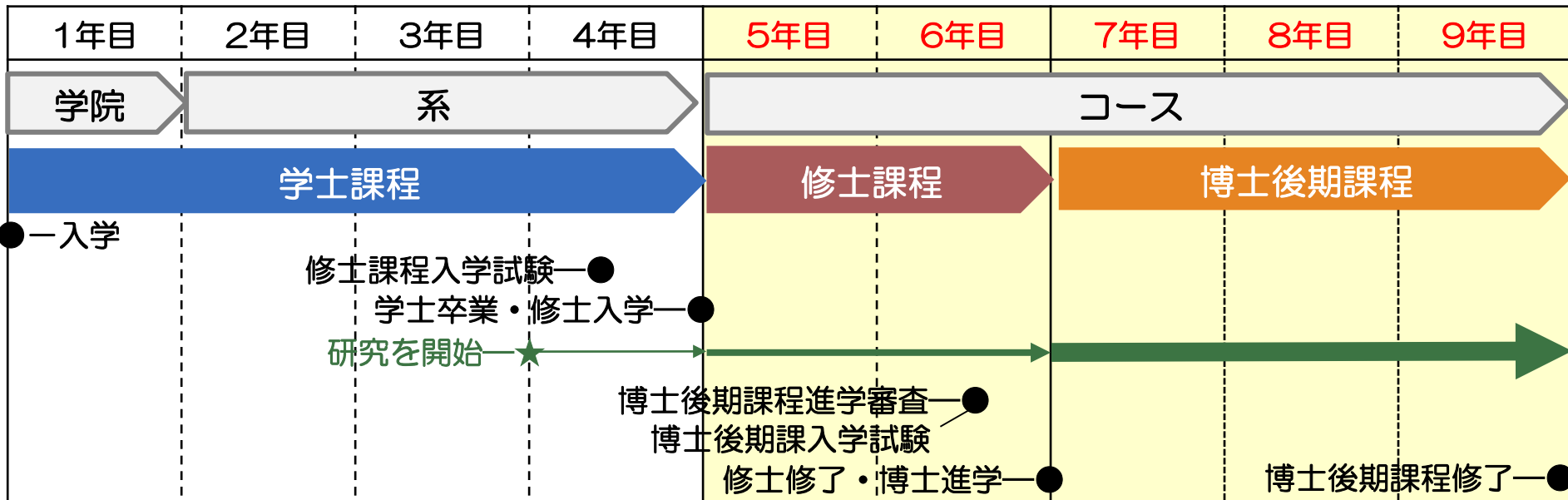
幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を求めます。



学士課程から大学院課程へ

学士課程（4年間）

大学院課程（5年間） 修士課程+博士後期課程



※全体人数は、2018.5.1現在

学士 全体4,828名
留学生 (5%)
入学 約1,100名/年

◆**8割強**
950名
前後/年

修士 全体3,947名
留学生 (17%)
入学 約1,800名/年

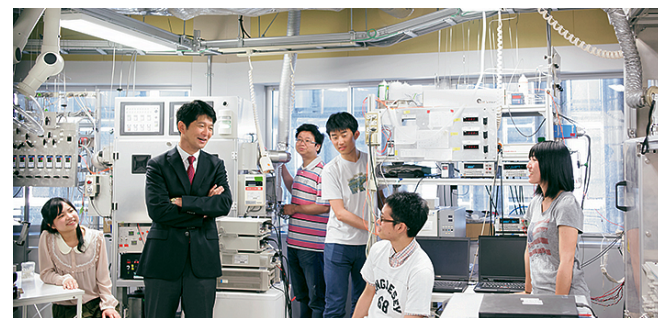
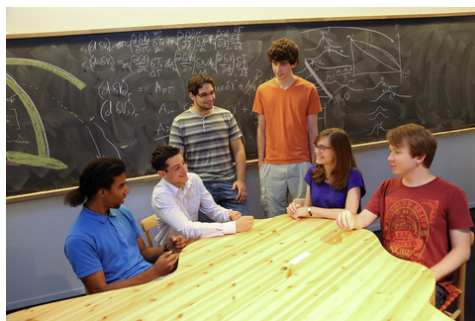
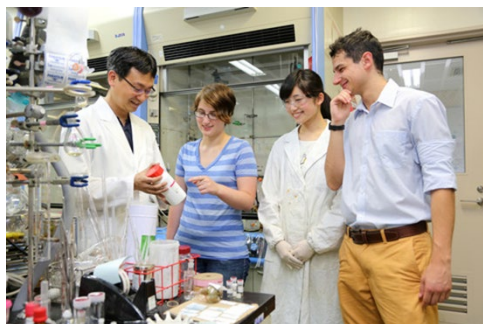
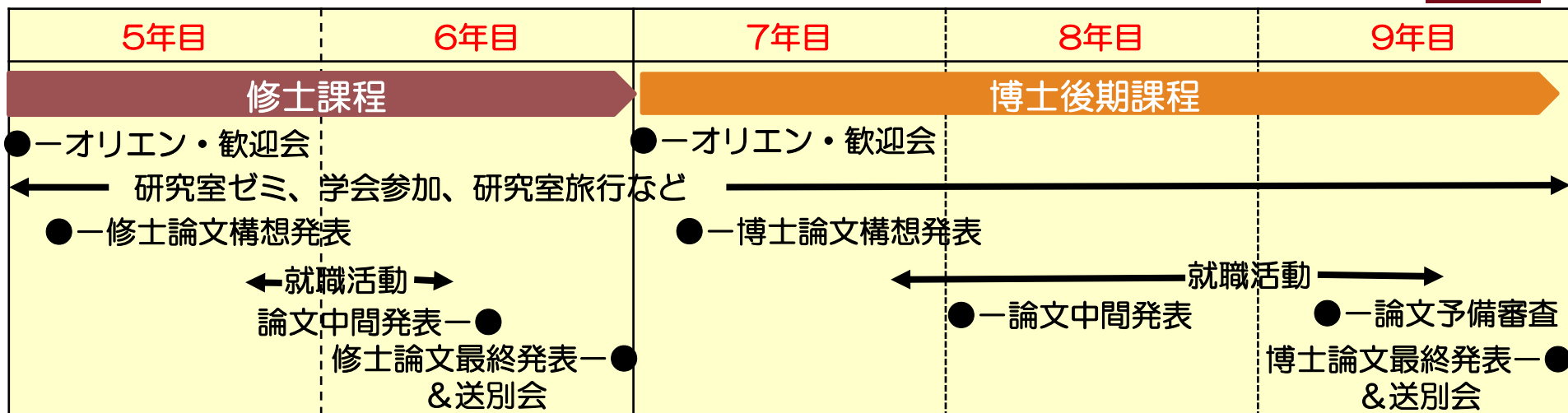
◆**2割弱**
250名
前後/年

博士 全体1,437名
留学生 (36%)
入学 約450名/年

他大学から入学 約800~900名/年
※外国人留学生は約1/3

他大学から入学 約200名/年
※外国人留学生は約1/2

年間スケジュールと主な活動の例（修士・博士）



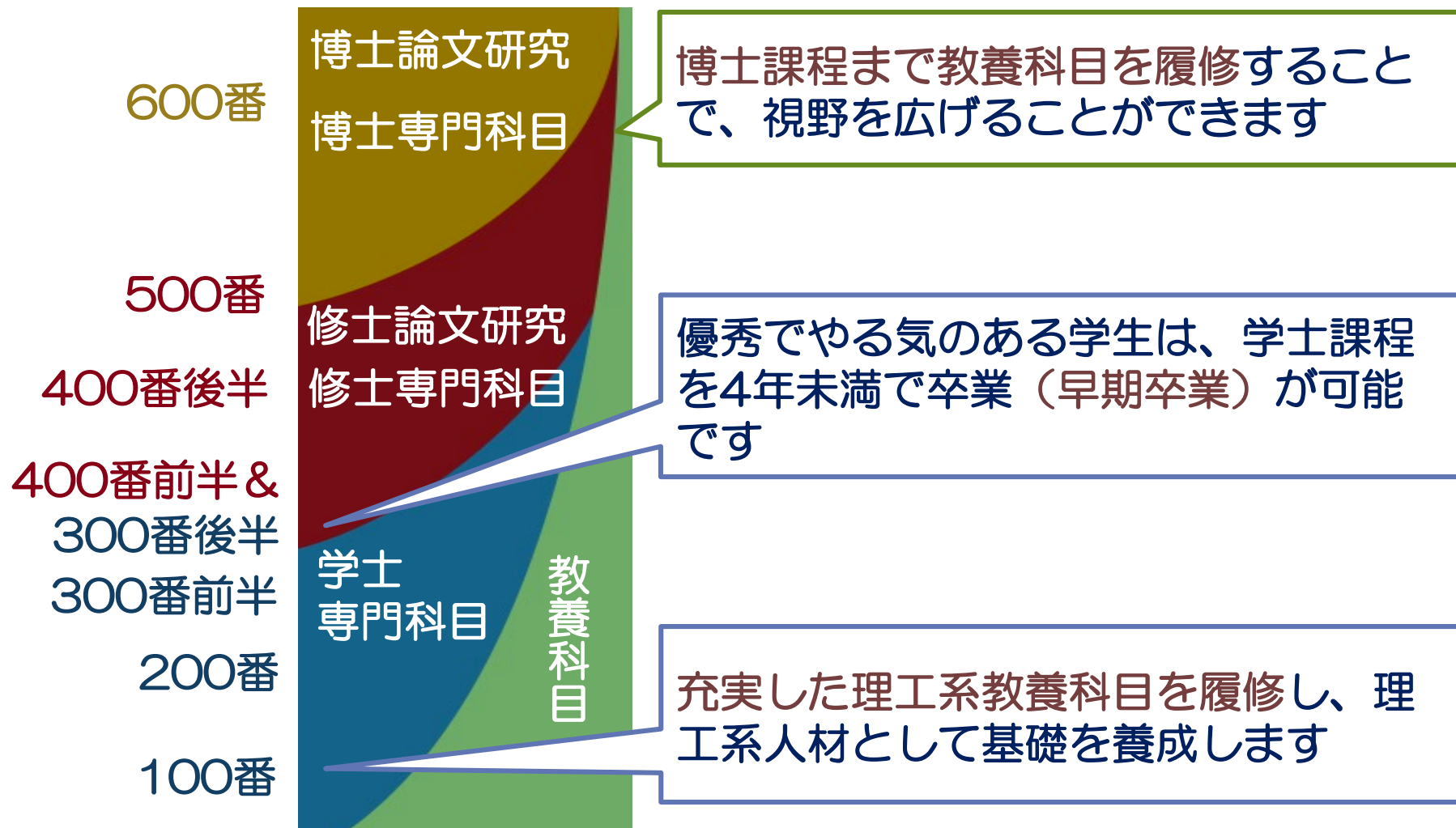
大学院生は、授業や講義よりも

研究室での研究が主な活動の場です。

実験や、議論、論文読み会、セミナーなど、指導教員や研究室のメンバーとともに過ごす時間が多くを占めることになります。

研究室メンバーには、留学生や社会人、研究生がいることもあります。また、企業インターンシップに参加したり、国際学会で発表したり、学術誌に研究成果を投稿することもあります。

学びを「年次進行基本」から「何をどれだけ学んだかを基本」とする



1年間を4つの期に分ける授業制度

第1クォーター	第2クォーター	夏休み	第3クォーター	第4クォーター	春休み
4月上旬～6月上旬	6月中旬～8月上旬	8月中旬～ 9月中旬	9月下旬～11月下旬	12月上旬～2月上旬	2月中旬～ 3月下旬

なぜクォーター制？

- 一科目を短い期間で集中的に学ぶことで学修効果を高めることができます。
- 必修科目等の実施回数が増えるため、学生ごとの学修の進捗に細やかに対応できます。
- 履修計画を柔軟に組むことができ、授業履修等に影響なく留学やインターンシップが実施可能となります。
- 海外の多くの大学と学期の開始時期が共通となるため、留学生を受け入れやすくなります。

修士課程（専門職学位課程）に入学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 400～500番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、キャリア科目を中心に履修。

≪修了要件≫ **400～500番台から30単位以上**を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

→ 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位以上（400番台）1単位以上（500番台）

キャリア科目：2単位以上（400～500番台）

（指定するGAを満たすこと）

専門科目等：18単位以上

講究科目：4-8単位（各コースにより異なる）

※専門職学位課程

専門職大学院に2年以上在学し、40単位以上の修得、その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。

◆その他

- 学位は、修士（理学・工学・学術）、専門職（技術経営）
- 標準修業年限は2年、在学年限は4年。休学は通算2年迄。
- 特に優れた研究業績があれば、修士課程を短縮して修了することが可能。

博士後期課程に入学・進学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内及び教授要目

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 600番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、キャリア科目を中心に履修。
≪修了要件≫ **600番台から24単位**以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
→ 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位以上

キャリア科目：4単位以上（指定するGAを満たすこと）

専門科目等：6単位（コースによっては専門科目6単位）

講究科目：12単位（短縮修了者は在学中の単位のみで可）

- 修士課程時に要件を満たせば、600番台専門科目を先んじて学修することができる。（博士進学後に単位が認定される）

◆その他

- 学位は、博士（理学・工学・技術経営・学術）
- 標準修業年限は3年、在学年限は6年。休学は通算3年迄。→最大9年間 可。
- 特に優れた研究業績があれば、博士後期課程を短縮して修了することが可能。但し、大学院課程（修士課程＋博士後期課程）で3年以上の在学期間が必要。（参考：学士課程3年で早期卒業＋大学院課程3年で短縮修了 可能）

「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦系と、
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横系で、
東工大生の未来を紡ぎます。



リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。



東工大リベラルアーツ教育3つの特徴

1 「志」と主体的な学びのストーリー

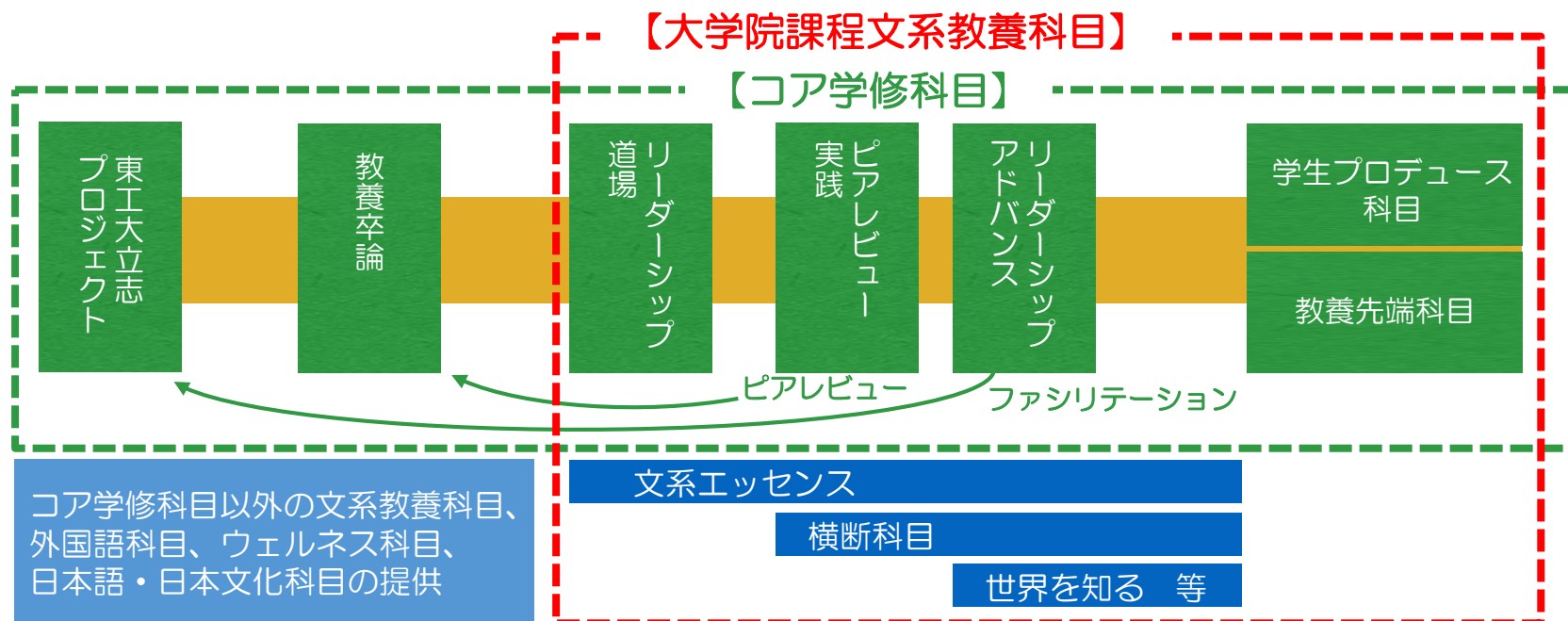
豊かな社会性・人間性をもって専門的な知を実社会で活かしていくことのできる、志ある人材を育成します。学生は、自分の志に即して科目を選び、学びを主体的にデザインします。

2 コア学修科目

コア学修科目は、教養教育の柱となるユニークな科目。学士入学直後から博士課程まで続きます。「東工大立志プロジェクト」「リーダーシップ道場」など7科目から構成されます。

3 教え合い・学び合い

同じクラスの仲間や下級生と、教え合い、学び合うグループワークの機会が多数あります。リーダーシップやファシリテーションスキルを磨きます。



リーダーシップ道場

ピアレビュー実践

リーダーシップアドバンス

教養卒論

東工大立志
プロジェクト

修士課程

「リーダーシップ道場」は、修士課程1年目の科目です。仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力を身につけます。リーダーシップ道場履修者のうち、特定の要件を満たした学生は、身につけた能力を活かして学士課程教育に貢献しながら、自ら学んでいきます。「ピアレビュー実践」では、教養卒論執筆をサポートします。さらに、「リーダーシップアドバンス」では、東工大立志プロジェクトのグループワークをファシリテートします。

博士後期課程学生に必要な教養とは？

世界最高水準の理工系の研究を行うには、自らの専門分野に限定されない幅広い知識、他分野の研究の意義を理解し吸収・活用する応用力や創造性、多様な人材と交流し「知」のネットワークを広げる柔軟性や学際性が必要である。

教養先端科目

●博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるために、講演会・少人数グループワーク・発表会を経験する。
グループワークの成果であるポスター制作の過程で研究者倫理を実際に適用しながら理解を深める。

●ねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

学生プロデュース科目

●博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるための「教養先端科目」の内容を自ら設計していく。
具体的には、博士後期課程学生が取り組む「教養先端科目」の包括的なテーマを決定後、専門家に講演を依頼し、授業の運営法、発表会の運営法や広報の方法について検討する。

●ねらいは、履修者が博士後期課程の教養科目を自律的に「設計」することを通じて、先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

学内の異なる専門分野の学生、留学生とのコミュニケーション能力の確立
リーダーシップ・学際性・情報発信能力 を身に付ける。
社会における役割の自覚



ポスタープレゼンテーション・ミニシンポジウムの開催

東工大発国際学会の設立を目標にした実践先進的プロジェクト型学習
各Qに200人の博士後期課程学生が英語でグループワーク（隔週土曜日）

次回開催（予定）2019年8月3日、2019年11月16日、2020年1月25日
ミニシンポジウムをぜひ参観してください。

ポスターセッション



リベラルアーツ・ミニシンポジウム

講演会



2018年4月28日第1回 博士教養講演会

学生スタッフ



2018年6月2日第2回 博士教養講演会

総評



2018年6月21日は
益学長から総評を頂きました

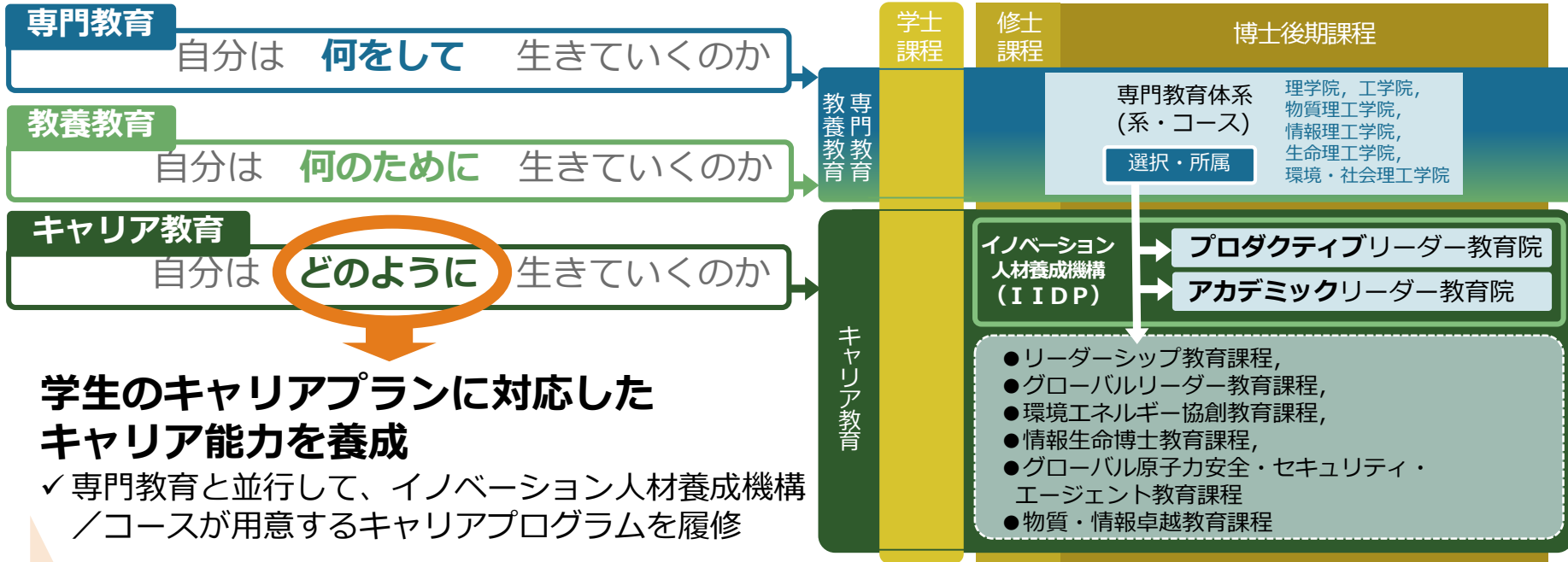


東工大リベラルアーツミニシンポジウム開催実績（2018年度）

第7回：7月21日、第8回：11月17日、第9回：1月26日（すすかけ台↑↑↑）

キャリア能力養成の教育プログラムと学院の専門教育との関係

卓越した理工系の専門能力を身につけ、それを社会へつなげていくために



学生のキャリアプランに対応した キャリア能力を養成

✓ 専門教育と並行して、イノベーション人材養成機構 / コースが用意するキャリアプログラムを履修

1. キャリアデザイン
2. 倫理
3. OJT/インターンシップ
4. リテラシー涵養
5. 社会貢献・啓発

フュージョンプロジェクト (ポスターセッション)
 留学生と外資系企業のための交流会 (Career Talk)
 インターンシップ説明会
 英語Job Interview研修

◆ 蔵前工業会に協力
 蔵前就職情報交換の集い (K-meet)
 博士後期課程学生のための蔵前就職情報交換の集い (Dr's K-meet)

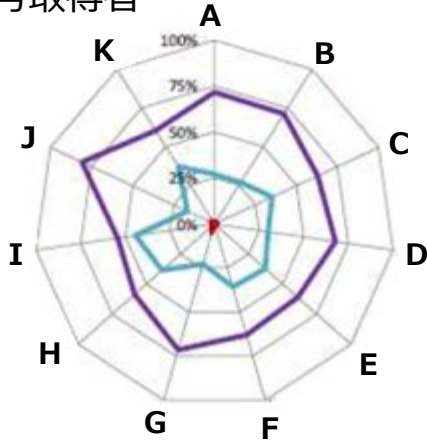
注) 修士・博士課程合わせて、2019年度はキャリア科目として全学で約600科目を提供予定!

- ◆ 自らのキャリアプランを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係を含めて認識できる
- ◆ 学術・研究における誠実性について理解し、自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し、専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる

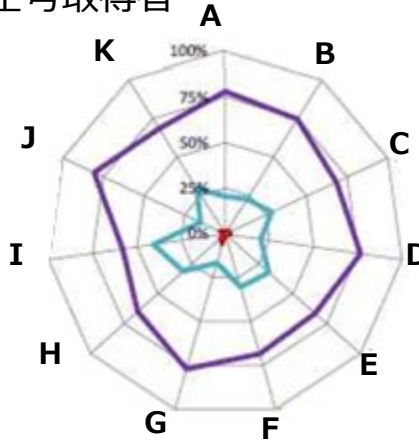
修士・博士の有効性は企業においても研究開発現場では認められている。

学生の採用後の印象

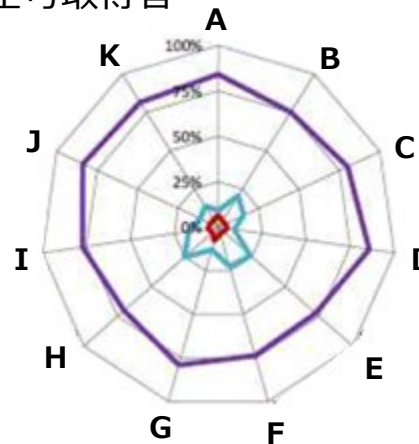
学士号取得者



修士号取得者



博士号取得者



- A : 専門分野への深い知識
- B : 会社の研究方針に則り, 専攻以外の分野へ展開する能力
- C : 課題設定能力・解決能力
- D : 論理的思考
- E : 総合的判断力・俯瞰的能力
- F : 進行管理能力
- G : プレゼンテーション能力
- H : 新発見・発明への高い意欲
- I : 独創性
- J : 責任感・社会性
- K : 国際感覚・語学力

- 期待を上回った
- ほぼ期待通り
- 期待を下回った

- また、アカデミアに進もうとする場合には、博士号保有（研究経験）は前提条件。
- 企業に進む場合にも、有効性が認識されている。
- キャリアの選択肢を広げられる！

東工大博士課程修了者のうち、**約95%**がポストを獲得！

「東工大修士・博士」ブランド

東工大から世界へ！：海外留学プログラム

【派遣交換留学】

- ・授業料等不徴収協定を結んでいる海外の大学で、専門分野の講義履修、研究、課外活動などを通じて様々な経験をすることができる制度 【期間】派遣先大学の学事歴で1学期以上1年以内
- 【語学条件】TOEFL iBT60点/TOEFL ITP 497点/IELTS 5.5点以上（語学要件が英語のみの場合）

【実践型海外派遣プログラム】(グローバル理工人育成コース)

- ・世界トップレベル大学での授業聴講、学生交流、ラボ見学、現地企業訪問などを通じ、長期留学や海外でのキャリア形成に備える体験留学(スウェーデン/インド/フィリピン/タイ/米国/英国/フランス/オーストラリアなど)
- 【期間】約10日間(夏及び春) 【語学条件】現地で英語によるコミュニケーションが可能なこと

【海外語学研修プログラム】

- ・レベルに応じた語学研修、理工系の英語研修やホームステイ滞在型など
- 【英語】米国/カナダ/オーストラリア/フィリピン【その他】フランス/台湾/ドイツなど
- 【期間】約2-5週間(夏及び春) 【語学条件】TOEIC 500点程度(プログラムによる)

【Tokyo Tech-AYSEAS】

- ・アジアの1国に赴き、現地・近隣国の学生と共に企業・政府機関・大学などを訪問
- 【テーマ】「From Asia to the World」 【期間】約10日間(夏)

- ・東工大留学フェア(毎年4-5月頃開催 2019年度開催日:5月8日(水)):
海外体験談発表, 個別相談, 外国政府による留学情報の提供など
- ・留学情報館: 留学情報の提供, 留学相談(大岡山キャンパス南6号館4階405号室)



1. 学内外からの入学

詳細： 本学HP ≫ 大学院で学びたい方 ≫ [大学院課程入学案内](#)

検定料：3万円 入学料：28.2万円

(2020年4月・2019年9月入学)

4月26日：入学願書配布開始

@【大岡山】入試課・守衛所（窓口又は郵送）

@【すすかけ台】教務課すすかけ台教務グループ（窓口）

6月13日～19日：入学願書受付

【A日程】

7月20日，7月22日～24日のうち学院・系等が指定する日：□述試験

8月1日：結果通知

【B日程】

8月16日：筆答試験

8月17日～27日のうち学院・系等が指定する日：□頭試問

9月5日：合格発表

1. 学内からの進学

詳細：本学HP ≫ 在学生の方 ≫ 学位取得 ≫ 学修案内等一覧

検定料：なし 入学料：なし

(2019年9月進学)

5月8日：進学願書配布開始

@【大岡山】教務課大学院グループ窓口

@【すすかけ台】

教務課すすかけ台教務グループ窓口

6月3日：進学願書提出締切

6月～8月：進学試験実施

9月上旬：進学者決定

内容は志望先による。
※外国語試験についても志望先によって異なるため大学院学修案内を参照のこと。

2. 学外からの入学

詳細：本学HP ≫ 大学院で学びたい方 ≫ [大学院課程入学案内](#)

検定料：3万円 入学料：28.2万円

(2019年9月入学)

4月26日：入学願書配布開始

@【大岡山】入試課・守衛所（窓口又は郵送）

@【すすかけ台】

教務課すすかけ台教務グループ窓口

7月2日～4日：入学願書受付

8月1日～27日：試験期間

9月5日：合格発表

各コース毎の説明会は、HPを参照

詳細：本学HPトップ ≫ 大学院で学びたい方 ≫ 説明会・オープンキャンパス ≫ 大学院説明会

1. 改定授業料（年額）

・【現行】535,800円 ⇨ 【改定後】635,400円

※ 年額 99,600円の値上げ

2. 改定授業料の適用

- ・平成31（2019）年4月以降，学士課程への入学者
- ・令和1（2019）年9月以降，大学院課程（修士課程，専門職学位課程，博士後期課程）への入学者及び学内進学者

※ 上記以外の入学者，学内進学者は現行のまま

※ 再入学，転入学，編入学については，入学年次に相当する在学者に係る授業料額

3. 教育環境の充実（主なもの）

- ① 早期から研究を志向する学生のための学士・修士・博士一貫教育の推進
- ② 世界各界の第一人者を招聘して行う最先端科学技術等の講義の充実
- ③ 講義の英語化などの教育の国際化
- ④ アクティブラーニング環境整備とオンライン教材の充実
- ⑤ 学生アクティビティ推進のための学生支援サービス強化



続いて
経済的支援についての説明へと続きます。



2. 経済的支援について



経済的支援の概要

1. TA・RA制度

教育・研究の業務補助で時間単価による給与




2. 入学料・授業料の免除/徴収猶予

経済的な理由により納付が困難かつ学業が優秀と認められる者

3. 奨学金

- (1) 日本学生支援機構 (JASSO) による奨学金
- (2) 民間財団等による奨学金 (日本人学生向け)
- (3) 民間財団等による奨学金 (私費外国人留学生向け)
- (4) 東工大基金奨学金
- (5) **東京工業大学つばめ博士学生奨学金**

4. 日本学術振興会による制度・プログラム

-  (1) 「特別研究員(DC)」制度
-  (2) 若手研究者海外挑戦プログラム
-  (3) 「海外特別研究員」, 「海外特別研究員-RRA」制度

経済的支援の概要__1. TA・RA制度, 2. 入学料・授業料の徴収猶予・免除

1. TA・RA制度

詳細：<http://www.jinjika.jim.titech.ac.jp/syoku/index.html>

RA（リサーチアシスタント）

……研究実験の補助など、研究にかかわる業務補助を行う学生

TA（ティーチングアシスタント）

……教育や授業の補助・準備など、教育にかかわる業務補助を行う学生

※大学から時間単価の給与を受け取ることができます。ただし勤務時間に上限あり。

TA (D) …本学の教育の質を高め、博士後期課程学生の教育力を身に付ける機会を設けています。
(その対価としてTA経費を支給。)

2. 入学料・授業料の免除/徴収猶予

詳細：本学HPトップ ≫ 大学院で学びたい方 学生支援 ≫ 授業料免除・入学料免除

- 入学料免除/徴収猶予：入学料を半額免除、徴収猶予できる制度です。
 - ※ 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者。
(学内進学者は入学料無し)
 - ※ 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた者
- 授業料免除/徴収猶予：授業料の全額か半額を免除、もしくは徴収猶予できる制度です。
 - ※ 上記条件と同様

経済的支援の概要__3. 奨学金

3. 奨学金 詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金

(1) 日本学生支援機構（JASSO）

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [日本学生支援機構奨学金](#)

日本人学生、永住者等の外国人学生を対象とした、本学の約2割の学生が利用している我が国最大の貸与奨学金です。第一種奨学金は無利子、第二種奨学金は有利子となっています。

種類		貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	修士	5万円、8.8万円から選択
	博士	8万円、12.2万円から選択
第二種奨学金(有利子)		5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

(2) 民間財団等奨学金について(日本人学生向け)

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [民間財団等奨学金\(日本人学生向け\)](#)

大学の推薦なしで直接申請できる奨学金と、大学からの推薦を必要とする奨学金の2種類があります。地方公共団体の奨学金は、主に貸与奨学金(返還必要・無利子)であり、民間財団の奨学金は、給与奨学金(返還不要)と貸与奨学金(返還必要・多くが無利子)の2種類に分かれます。

(3) 私費外国人留学生用奨学金

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [留学生向け奨学金](#)

大学からの推薦を必要とする奨学金と大学の推薦なしで直接申請できる奨学金があります。

「大学推薦」の奨学金に申請したい留学生は、春と秋に学生支援課で登録申請を行ってください。推薦学生を選出します。

「直接応募」の奨学金の情報は、学内の掲示板や大学ウェブサイトに掲載しています。各自でご応募ください。

3. 奨学金

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ [学費・奨学金](#)

(4) 東工大基金奨学金

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ [学費・奨学金](#) ≫ [民間財団等奨学金](#) ≫ [東京工業大学基金奨学金](#)

・[東工大基金奨学金『青木朗記念奨学金』](#)

対象：修士課程1年次の者（4月現在）※所得条件あり

採用予定人数 3名

奨学金の額 月額5万円

スケジュール 例年4月募集開始，6月採用決定

・[東工大基金奨学金『草間秀俊記念奨学金』](#)

対象：博士課程1年次の者（4月現在）※所得条件あり

採用予定人数 2名

奨学金の額 月額6万円

スケジュール 例年4月募集開始，6月採用決定

★このほかにも複数奨学金がありますのでHPをご確認ください

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/tuition/>

経済的支援の概要__3. 奨学金

3. 奨学金 詳細：本学HPトップ >> 在学生の方 >> 学費・奨学金 >> 東京工業大学つばめ博士学生奨学金

(5) 東京工業大学つばめ博士学生奨学金

志のある学生が経済的状況により本学で学ぶ機会を逸することがないように、優れた資質や能力を有する博士後期課程学生に対して、経済的負担を減らし、修学に専念できるようにすることを目的とします。

応募資格

2018年4月以降に博士後期課程に入学・進学した学生は受給の資格があります。

但し、下記に該当する学生は本制度による支援の対象としません。

1. 現在受給しているフェローシップ、奨学金等の制度が、他の奨学金の受給を制限している場合（日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生、外国政府派遣留学生奨学金等）
2. 社会人として所得のある者（例：正社員として企業に所属している者、個人で事業を運営し、所得を得ている者）
3. 標準修業年限を超過した者

給付期間・金額 標準修業年限である3年間支給

博士後期課程1年次	年額480,000円（一般奨学金）
博士後期課程2年次以降	年額480,000円（一般奨学金） 又は 年額635,400円（特別奨学金）※1、※2

※1 2年次以降は、一般奨学金の他、特に優秀な学業成績を修めた学生（2年次～3年次の全奨学生の20%程度）に対して一般奨学金の代わりに特別奨学金を支給します。

※2 例外対応とする学年

2018年4月入学の博士後期課程学生については、2019年4月時点で2年次相当になりますが、制度の転換期の対応として2019年度は一般奨学金対象者として扱います。

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

4. 日本学術振興会による支援制度・プログラム

(1) 「特別研究員(DC)」制度

制度の概要

「特別研究員(DC)」の制度は、大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金(月額20万円)を支給する制度です。

また、特別研究員採用者は、科研費(特別研究員奨励費)への応募資格が付与されます。採用内定後、研究計画調書を提出することにより、採用期間中、原則全員が年間100万円前後の研究費を受給できます。採択率は20~25%程度(2019年度は22.4%)。

- 対象者・・・ **各採用年度の4月1日時点で大学院博士課程に在学している者(予定含む)**
- 応募時期・・・採用年度の1年前の3~6月ごろ
(令和2年度(2020年度)採用分の応募書類学内提出の締切は5月16日です)

応募区分

- DC1** 応募区分は2種類、DC1とDC2です。
- DC2** 基本的に、DC2は応募時に博士課程に入学済みの方、DC1は応募時には博士課程に進学「予定」の方が対象です。つまり、DC1にはM2の時期に応募することがほとんどです。

※入学時期によっては上記に当てはまらない場合もあります。

DC1とDC2の違いは主に下記の点です。

- ≫応募区分・・・上記のとおり
- ≫審査区分・・・申請する資格(DC1またはDC2)毎に審査
- ≫採用期間・・・DC1は3年間、DC2は2年間

研究奨励金の額など待遇に差はありません。

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

研究奨励金と特別研究員奨励費

研究奨励金

研究奨励金は、特別研究員に採用された方が貰える月々の給与のようなものです。DC1、DC2ともに月額20万円が支給されます。研究奨励金の**使途は自由**です。

特別研究員奨励費

特別研究員奨励費は、特別研究員に採択された方のみが応募できる科研費の一種です。採用期間中、**年度ごとに100万円前後**の研究費が受給できます。

研究のための補助金ですので、自身の**研究遂行のためにしか使用できません**。

特別研究員に採用された方は基本的に全員受給できますが、**応募時に提出する研究計画調書の内容を審査され受給額が決定**します。

特別研究員(DC)に採用されると、月額20万円の自由に使用できるお金と、年間100万円前後の研究費が受給できます。**原則的に、上記以外の報酬や、資金援助の受給は認められません**。アルバイトや奨学金などは、採用までに退職・辞退しなければなりません。(RA・TA等、例外的に受給可能なものはあります)

採用後の就職状況について__特別研究員DCのキャリアパス

日本学術振興会のWebページに就職状況調査が掲載されています。

http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_syusyoku.html

《学振の調査結果より》(平成29年4月1日現在)

日本学術振興会特別研究員-DCは、採用期間終了5年経過後調査では、**79.5%**が「**常勤の研究職**」に就いており、我が国の研究者の養成・確保の中核的な役割を果たしている。

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

応募スケジュール

直近の応募スケジュールです（令和2年度（2020年度）採用分）

2019.3	募集開始（募集要項等の公開）
2019.4月上旬	電子申請システムで申請書受付開始
2019.5	申請書提出の締切
2019.10	一次結果開示（採用内定(面接免除)、面接候補、不採用) →面接候補となった方のみ二次選考（面接）へ
2020.1	二次結果開示（面接候補→採用内定、不採用、補欠）
2020.2	補欠結果開示
2020.4.1	採用開始

東工大では、毎年3月上旬に応募者向けの説明会を開催しています。応募をお考えの方はぜひご参加ください。

参考情報

日本学術振興会

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>

東京工業大学 日本学術振興会 特別研究員

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_tokken/index.html

問い合わせ先

東京工業大学 研究推進部 研究資金支援課 研究資金助成グループ
事務室：事務局3号館2階

（大岡山キャンパス正門から
学内セブンイレブンに向かって直進、
左側、検収センターの一つ先隣の建物）

メール：j-fellow@iim.titech.ac.jp

TEL：03-5734-3806

（内線3806、7221）

事務局3号館



経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

(2) 若手研究者海外挑戦プログラム

制度の概要

「若手研究者海外挑戦プログラム」は博士後期課程在籍者に、3か月～1年程度海外の研究者と共同研究に従事する機会を提供する制度です。採用者には、以下の経費が支給されます。

- 往復航空賃
- 滞在費（派遣国によって異なる。派遣期間に依らず100万円～140万円）
- 研究活動費（派遣先機関の請求書に基づき、ベンチフィー20万円まで支給）
採択率は約48%（2018年度は50.0%）

対象者・・・

各採用年度の4月1日時点で、博士後期課程に在籍する者
 （申請時においては見込みでも良い）、
 連続して3か月以上、研究のために海外に滞在した経験がない者

派遣期間・・・派遣開始日から3か月～1年

応募スケジュール

直近の応募スケジュールです（平成31年度（2019年度）採用分）

2019.2	募集開始（募集要項等の公開）
2019.5上旬	申請書類の学内提出締切
2019.7下旬	審査会
2019.8頃	採用内定通知
2019.8以降	順次派遣開始

※申請書類の学内提出期限は、日本学術振興会の締切より早く設定されています。東工大HPに掲載される学内募集要項で、必ずスケジュールを確認してください。
<https://www.iad.titech.ac.jp/funding/top.html>

経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

(3) 「海外特別研究員」, 「海外特別研究員-RRA」制度

制度の概要

「海外特別研究員」の制度は、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度です。採用者には、以下の経費が支給されます。

■往復航空賃

■滞在費・研究活動費

(派遣国によって異なる。年額約450万円~620万円) 採択率は20%前後(平成31年度は22.2%)

対象者・・・ 各採用年度の4月1日時点で、博士の学位を取得後5年未満の者
(申請時においては見込みでも良い)

派遣期間・・・派遣開始日から2年間

「海外特別研究員-RRA」の制度は、優れた若手研究者が結婚・出産・育児・看護・介護のライフイベントによる研究中断等の後に、海外の特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度です。採用者には、以下の経費が支給されます。

■往復航空賃(子を同伴する場合には、帯同する子にかかる往復航空賃も含む。)

■滞在費・研究活動費(派遣国によって異なる。年額約450万円~620万円)

■子供手当(帯同する子一人につき滞在費・研究活動費の10%相当)

対象者・・・

- ・以下のいずれかによる研究中断等の期間が通算90日以上ある者
 - (1) 申請者本人又は配偶者の出産又は育児
 - (2) 家族の看護
 - (3) 家族の介護
 - (4) 結婚に伴う転居による辞職
- ・各採用年度の4月1日時点で、博士の学位を取得後10年未満の者
(申請時においては見込みでも良い)

派遣期間・・・派遣開始日から2年間



経済的支援の概要__4. 日本学術振興会による制度・プログラム

採用後の就職状況について__海外特別研究員のキャリアパス

日本学術振興会のWebページに就職状況調査の結果が掲載されています。 https://www.jspss.go.jp/j-ab/ab_syusyoku.html

《学振の調査結果より》平成26年度採用者分（平成28年度までに終了した者）
平成26年度に採用された海外特別研究員204人は、採用期間終了後、常勤の研究職（任期付き等を含む）に111人（54.4%）就いており、非常勤も含めた研究職に就いている者は、195人（95.6%）となった。

応募スケジュール

直近の応募スケジュールです（令和2年度（2020年度）採用分）

2019.2	募集開始（募集要項等の公開）
2019.4	申請書類の学内提出締切
2019.8中旬	一次選考結果開示（採用内定(面接免除)、面接候補、不採用） →面接候補者のみ二次選考へ（9月下旬～10月上旬・面接）
2019.10下旬	二次選考結果開示（面接候補者→採用内定、不採用、補欠）
2020.4.1	順次派遣開始

※申請書類の学内提出期限は、**日本学術振興会の締切より早く設定されています**。東工大HPに掲載される学内募集要項で、必ずスケジュールを確認してください。 <https://www.iad.titech.ac.jp/funding/top.html>

参考情報

日本学術振興会

<https://www.jspss.go.jp/j-abc/>
（若手研究者海外挑戦プログラム）

<https://www.jspss.go.jp/j-ab/index.html>
（海外特別研究員、海外特別研究員-RRA）

東京工業大学 国際交流助成事業（学内限定）

<https://www.iad.titech.ac.jp/funding/top.html>

問い合わせ先

東京工業大学 国際部 国際事業課 国際基盤グループ

事務室：南6号館3階306号室

（大岡山キャンパス正門から
学内セブンイレブンまで直進し、左手の建物）

メール：kokuji.jspss@iim.titech.ac.jp

TEL：03-5734-7690（内線7690）

南6号館



3. キャリア支援について



就職活動のスケジュール（2019年卒の場合）

<M1>

<M2>

6~7月 8~9月 10~1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11~3月

自分のことを知る
良さ・強みを見つける

インターンシップ応募・選択

インターンシップ実施

インターンシップ
応募・選択

インターンシップ実施

★
就職サイトオープン、エントリー開始

仕事を考える
・できそう
・やりたい

行きたい会社
を考える・見
つける

★
就職サイトに登録

<3月1日>
選考に関わ
りのない広
報活動解禁

★
<6月1日>
採用選考
活動解禁日

★
<大手企業
内定出し>

OB訪問

合同企業説明会・個別企業説明会

選考（筆記試験、面接、内々定）

エントリーシート受付

エントリーシート
履歴書準備

<国家公務員試験>

<地方上級公務員試験>

外資系、一部の企業
選考開始 内々定出し

内定式

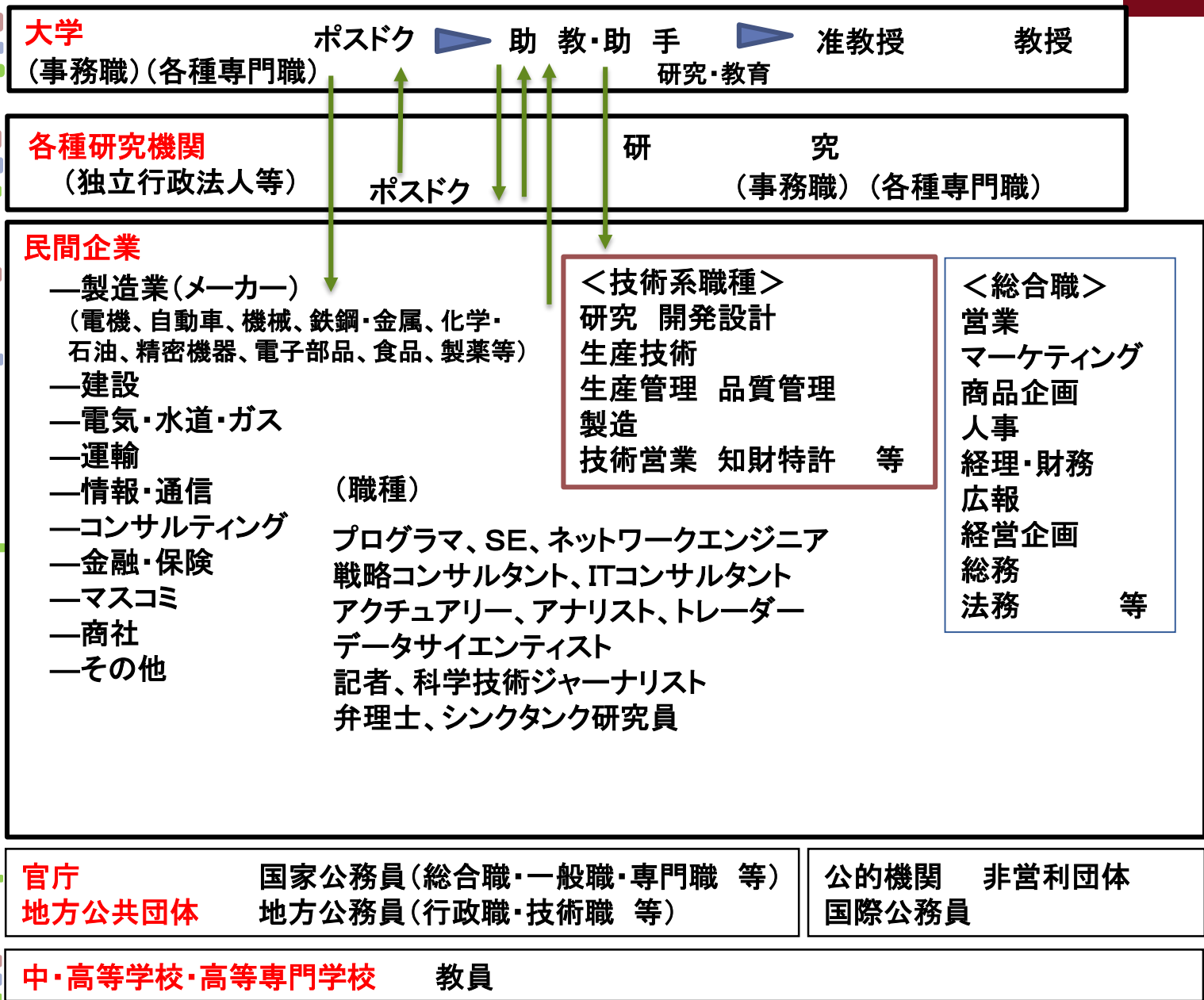
卒業・修了

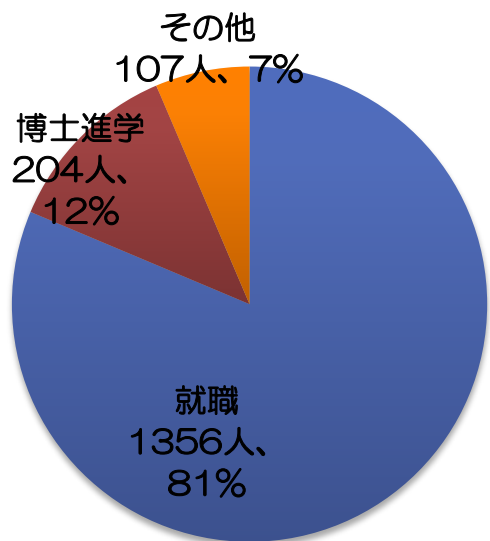
採用活動
継続

*注：博士後期課程の学生に関しては、このスケジュールに該当しない。 1

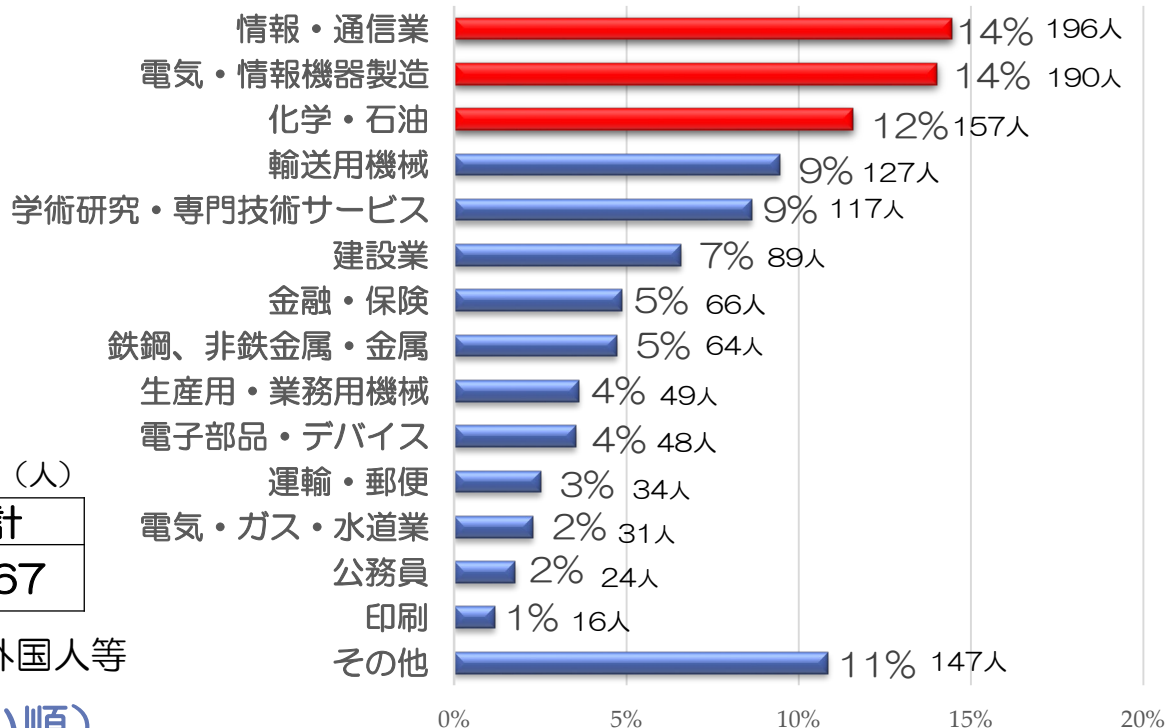
◆東工大大学院生のキャリアパス

学士
修士
博士





<修士修了者 就職先（業界）>



(人)			
就職	博士進学	その他	合計
1,356	204	107	1,667

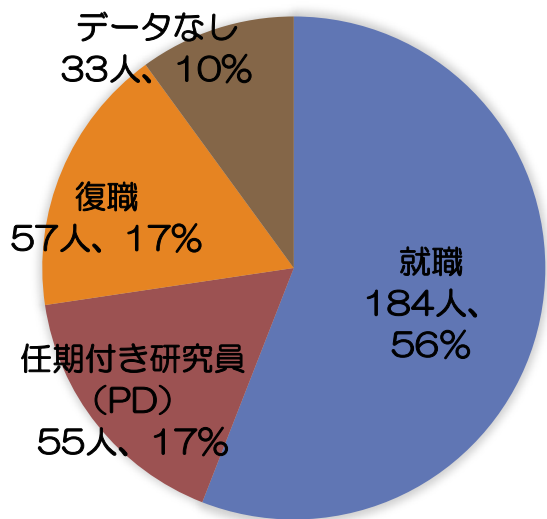
*その他：研究生、海外留学、帰国外国人等

主な企業就職先（人数の多い順）

本田技研工業25人 日立製作所21人 ソニー20人 NTTデータ20人 トヨタ自動車18人
 キヤノン18人 アクセンチュア16人 三菱重工業15人 パナソニック15人 日産自動車14人
 東日本旅客鉄道12人 新日鐵住金12人 野村総合研究所12人 オリンパス12人

公務 東京都5人 経済産業省5人 特許庁2人 群馬県2人 文部科学省1人 農林水産省1人

就職8割。博士進学も。
 自分の専門を活かした就職の傾向

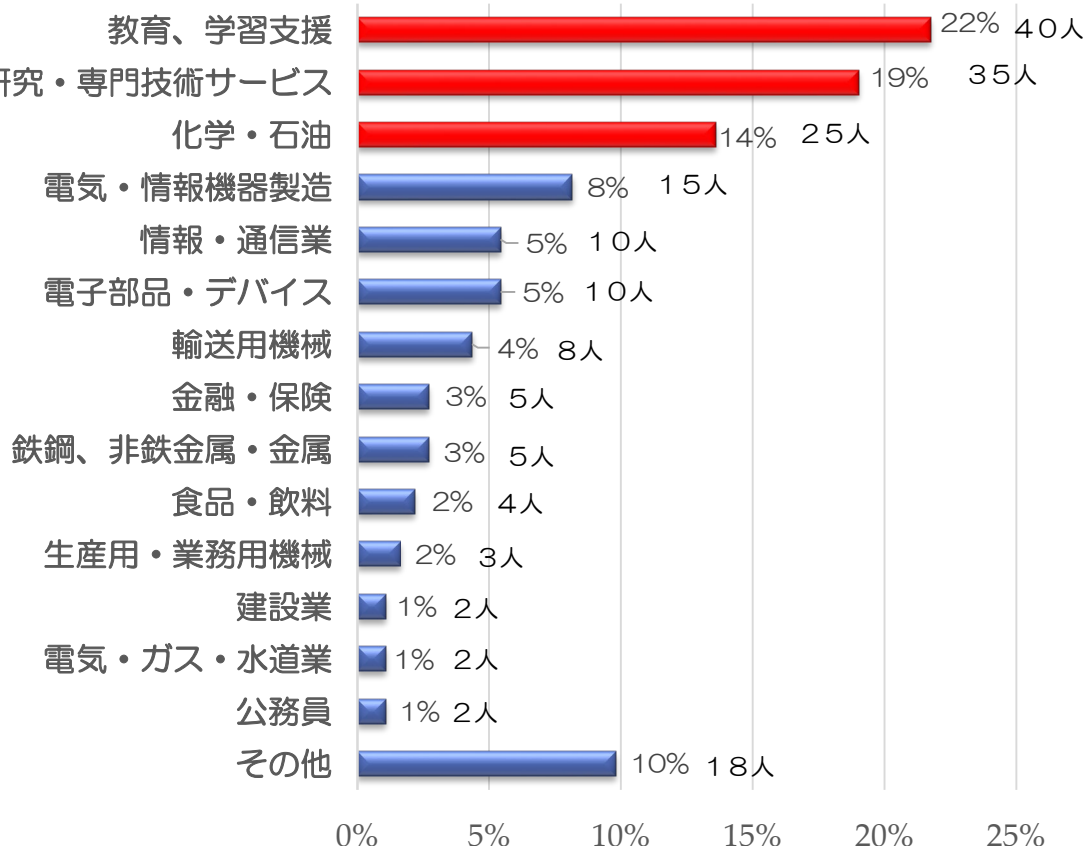


就職 (大学教員・企業・研究所等)	184人
任期付き研究員 (ポスドク等)	55人
復職	57人
データなし	33人
合計	329人

※ 主な就職先 (人数の多い順)

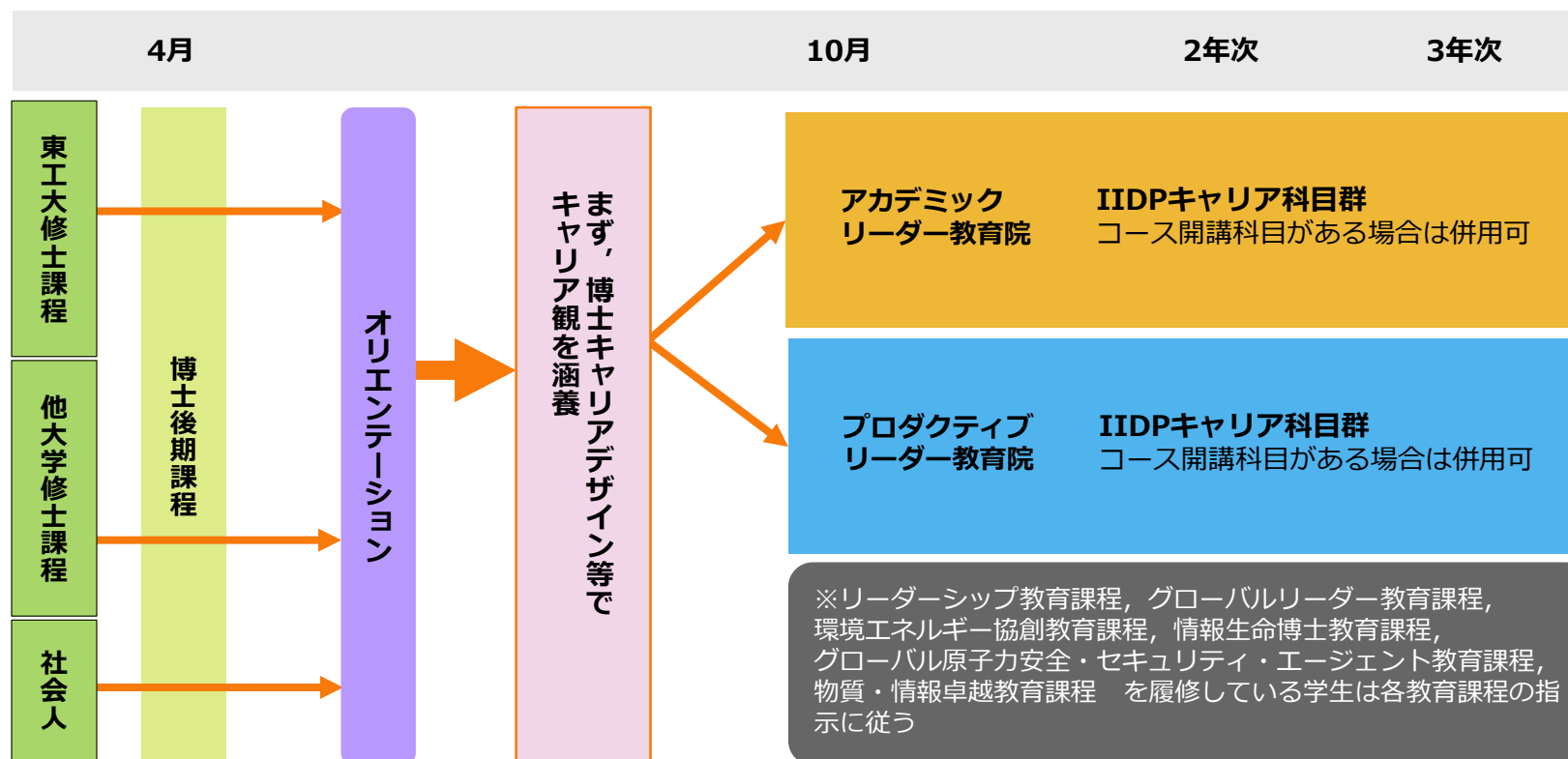
大学 (国内) 25人 大学 (海外) 11人 三菱電機 4人 旭化成 3人 日本原子力研究開発機構 3人
 国立環境研究所 3人 日産自動車 3人 理化学研究所 2人 日立製作所 2人 昭和電工 2人
 日本電気 2人 三井化学 2人 三菱重工 2人 他

< 博士修了者 就職先 (業界) >



博士は教育（大学等）や学術研究・専門サービス業が多く、
 専門を活かす傾向。メーカーでは化学関係の業界での採用が活発。

博士後期課程に入学後、自身の想定するキャリアプランに基づいて
アカデミックリーダー教育院（学術界・大学等のキャリア） もしくは
プロダクティブリーダー教育院（企業等で活躍するキャリア） を選択し
能力養成のプログラムを必修化している。



◆博士後期課程学生就職への支援

- 学部、修士学生同様、各系・コースでの就職支援、キャリアアドバイザールームでの支援に加え、イノベーション人材養成機構(IIDP)の設定するキャリア科目群は、博士人材と企業の接点を形作るものが多数。
<http://www.iidp.titech.ac.jp/program-index.html> (「IIDPキャリア教育プログラム」で検索)
 - 東工大博士の採用のため、「Dr's K-meet(旧 ドクターズキャリアフォーラム)」に80社以上が学内に来訪。
 - 博士採用情報収集、企業の人事と直接のコミュニケーションが取れる。(日本最大級の博士専用キャリアフェア)
 - フュージョンプロジェクト(ポスターセッション)を通じて学生から企業へ研究内容のアピール可能。
 - 「PLP研修」(中長期インターンシップ)等を通じ、就職につながる例も多数。
 - 企業人を講師に招き、実践的キャリア観養成だけでなく、経団連と協働する「PLP発展研修」
- 基本的活動方針は修士/学士と変わらない、「専門性」が勝負。(東工大の強み)
- 「博士への期待」に沿える、しっかりした研究能力、高い専門性、それらを伝えるコミュニケーション能力を発揮する。



キャリア科目やイベント等の機会を通じて、企業との強いパイプをつくる。

毎年12月には「**Dr's K-meet**」を学内で開催

参加資格：博士後期学生/ポスドク限定

2018年 出展企業

旭化成、AGC、大塚製薬、NECLノボ、大林組、花王、キーサイト・テクノロジー、京セラ、協和発酵キリン、神戸製鋼所、コニカミノルタ、構造計画研究所、JT、島津製作所、昭和電工、住友重機、スリーエムジャパン、セイコーエプソン、ソニー、ソフトバンク、データフォーシーズ、テルモ、電力中央研究所、東洋ビジネスエンジニアリング、東レ、日本ゼオン、日本電気、NTT、野村證券、パナソニック、JR東日本富士フィルム、ボッシュ、みずほ情報総研、三井住友銀行、三井物産、三菱ケミカル三菱電機、ヤフー、リコー、ルネサスエレクトロニクス 等 全82社

<同時開催>

フュージョンプロジェクト

学生によるポスターセッション
自分の研究について企業へ直接
アピールする場

個別ブース説明

企業からの会社・仕事内容、
採用等についての説明

2018年3月卒「有名企業への就職率が高い大学ランキング」

■有名企業400社への実就職率が高い大学（2018年卒、1～50位）

順位	設置	大学名	所在地	400社 実就職率 (%)	卒業生数 (人)	400社 就職者数 (人)	大学院 進学者数 (人)
1	国	東京工業大学*	東京	57.1	2,781	918	1,174
2	国	一橋大学	東京	54.9	995	494	96
3	公	国際教養大学	秋田	44.0	183	77	8
4	私	豊田工業大学*	愛知	40.5	129	34	45
5	国	名古屋工業大学*	愛知	40.3	1,688	404	685



※卒業生数（人）＝学士＋修士（引用）大学通信

企業は「東工大生」に「第一に」何を期待するか？

就職に強い東工大

- 高い専門性、高い理系の基礎能力
 - 実験、解析・分析、シミュレーション、プログラミング等が得意な人
 - 努力家、研究熱心、職人気質、将来のリーダーとなることが期待されている人材
- （キャリアアドバイザーによる企業人事へのインタビューより）



早くから就職活動に精を出すことではなく、東工大大学院での日々の授業、研究に真摯に取り組むことにより身につけることができる。

キャリア相談窓口

- 系・コースの就職担当教員及び指導教員による個別相談
- 専任のキャリアアドバイザー（4名）による個別相談
<https://www.titech.ac.jp/enrolled/career/counseling.html>
- 蔵前工業会（同窓会組織）のくらまえアドバイザーによる個別相談

主なキャリア支援関連イベント

M1, D

- 6月 進路ガイダンス
就職に限らず、進学や公務員等「進路」すべてへの考え方を解説
- 11月 就職ガイダンス
就職を希望する学生への全体的な考え方、スケジュールなどを解説
- 11月 留学生就職ガイダンス
留学生を対象として日本での就職についてのスケジュール、考え方を解説
- 1月 仕事とキャリアセミナー
先輩による企業でのキャリアや業務についての講演
- 2～3月 エントリーシート・面接対策講座（複数回）
具体的な就活でのスキル指導

M1 → M2, D

- 3月,4月 蔵前就職情報交換の集い(K-meet)、官公庁等説明会
3月は約300社、4月は約100社の企業が大学で会社説明会と交流会を実施
- 6月,12月 就職活動再点検講座 I、II
この時点で無内定者への指導